

情報化計画の策定を支援するため のICT利活用モデル提案書

【高知県南国市】



一般財団法人全国地域情報化推進協会

<http://www.appl ic. or. jp/>

ICT利活用・環境整備委員会
ICT利活用・環境整備促進ワーキンググループ

はじめに

一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）では、地方公共団体の情報システムの抜本的な改革や法制度改正等への迅速な対応並びにシステム連携基盤（地域情報プラットフォーム）の構築を推進する中で、地域住民が恩恵を受けられる官民連携・協働による公共ワンストップサービスの取り組みや地域住民に直結する医療・健康・福祉、安心・安全、学校教育に関する公的アプリケーションの検討・整備とICT利活用の促進や地域情報化推進に関する人材育成等さまざまな活動の支援などを展開しています。

APPLICのICT利活用環境整備委員会、ICT利活用環境整備促進ワーキンググループは、従来、国が推進する「ブロードバンド基盤整備（e-Japan 戦略）」や「デジタル・デバイス解消戦略」などによる「ブロードバンド・ゼロ地域の解消」に向けて情報通信に関する調査や地域特性に応じた公共ネットワーク構築モデル仕様などの検討を行ってまいりました。ブロードバンド環境については、国のブロードバンド基盤整備事業や地域情報通信基盤整備事業などが推進され、平成24年3月末時点で、ブロードバンドが100%、超高速ブロードバンドは97.3%まで普及しております。

平成22年5月には、国から新たに「新たな情報通信技術戦略」が発表されました。国民本位の電子行政の実現（電子自治体）や地域の絆の再生（ICT利活用と光の道）などの新たな取り組みが掲げられました。

一方、地方自治体では、従来の庁内システムの電子化や情報通信基盤整備を中心とした地域情報化計画から市民サービスの向上を狙いとして、住民利用者視点、地域関係団体との連携、市町村合併に対応した広域連携など情報通信基盤、業務系システムの最適化、公共サービス（ICT利活用）を網羅・融合した総合的な計画づくりが検討されるようになりました。

平成23年度は、総合的なICT利活用による地域情報化計画策定の萌芽時期にあると考え、ICT利活用環境整備促進ワーキンググループの取り組みの一つとして、情報化計画の策定を検討している自治体をモデルにして情報化計画の策定を支援するICT利活用モデルの提案を推進することとしました。

平成23年度は、鹿児島県霧島市をモデルにして、霧島市が課題を抱えている5つの分野（防災、福祉、観光、環境、統合GIS）について検討を行い、課題に対応する方策等の提案を行いました。

今年度は、新たに人口規模10万人以上と10万人未満に分けて、本検討に参加していただく自治体を募集いたしました。全国から15自治体のご応募をいただきました。

10万人以上は、千葉県市原市（282,587人）、10万人未満は、高知県南国市（48,907人）を選定し、新たな地域情報化計画策定支援の取り組みを実施いたしました。

本資料は、人口規模10万人未満の高知県南国市をモデルにして地域情報化計画の策定を支援するICT利活用モデル提案を行うものであり、APPLIC検討メンバーが、他の自治体での導入事例や構築事例など踏まえて、南国市の課題解決に向けて方策を提案するものです。

まず、既存の南国市情報化計画は、平成16年4月から実施されており、庁内業務システムの電子化と庁内LAN環境の整備、情報通信基盤整備を中心とした計画になっておりました。住民向けサービスに向けて、新たに平成26年4月から実施される地域情報化計画に盛り込むことを考えており、南国市では、関係原課をメンバーとした推進体制「南国市地域情報化推進プロジェクト・チーム」を発足させて検討が進められています。

本取り組みでは、まず、南国市の地域事情を知る上で、「南国市の概要」、「地域特性」などを聞かせていただき、地域事情や情報通信基盤の整備状況について状況確認を行いました。また、南国市が抱えている「地域課題」は、本取り組みの重要な部分であることから、南国市の課題の情報交換を行い、課題の事前確認を行いました。南国市からは、5つの分野（福祉・保険、防災、教育、観光、農業）について課題が示されました。その後、南国市にて各分野の課題について、関係原課のご担当者へインタビューを行い、課題の詳細確認、課題の具体化を行いました。

本資料は、南国市をモデルにして、前述した課題に対して、ICT利活用で解決する方策について提案を行っております。また、ICT利活用による課題解決は、システム導入を前提としたものではなく、自治体職員を支援することが前提となり、費用対効果についても配慮しております。

目 次

第1章 地域（南国市）の現状と課題.....	1
1. 南国市の概要.....	1
2. 地域特性.....	9
3. 地域情報化の現状と課題.....	13
3. 1 地域情報化の現状.....	13
3. 2 地域情報化の今後の課題.....	16
第2章 地域課題解決のための具体的施策.....	18
1. 地域課題（ニーズ）と解消策.....	18
1. 1 福祉・保健分野.....	18
1. 2 防災分野.....	20
1. 3 教育分野.....	22
1. 4 観光分野.....	24
1. 5 農業分野.....	26
2. ICT利活用による解消策の提案.....	30
2. 1 福祉・保健分野.....	30
(1) 高齢者見守り・買い物支援システム.....	30
(a) 超高速/高速通信ネットワークとテレビ電話を利用した 高齢者の見守り・買い物支援システム.....	30
(b) 携帯電話を利用した高齢者見守り・買い物支援システム.....	34
(2) ICTサロンの開設.....	37
(3) 高齢者・障害者関連情報共有システム.....	40
2. 2 防災分野.....	43
(1) 危機管理支援システム.....	43
(2) 防災情報受信端末.....	47
(3) 防災情報伝達制御システム.....	49
(4) 避難誘導システム.....	51
(5) クラウドサービス活用による業務継続.....	53
(6) 電力供給システム.....	55
2. 3 教育分野.....	57
(1) 校務支援システム.....	57
(2) 遠隔教育・学習システム.....	61
(3) 食育サイト.....	65
(4) 市民学習サイト.....	68

2. 4	観光分野	71
(1)	観光フリースポット	71
(2)	観光ナビ	73
(3)	オンデマンド・タクシー	75
(4)	観光カメラ	77
(5)	プッシュ型観光情報配信システム	79
(6)	ふるさと会情報交流サイト／SNS	81
2. 5	農業分野	83
(1)	農業生産管理・集約システム	83
(2)	農業ICTソリューション（生育状況ライブ発信サイト）	85
(3)	直販所情報交流サイト	87
(4)	地域ブランド情報交流サイト	90
第3章	南国市の次期情報化計画策定への提案	93